

【財団HP掲載用の調査概要】

調査課題名

【過去5年間の地域健診における大腸がん検診の実施状況について ー第2報ー】

本調査は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の審査結果（承認）を踏まえて理事長が許可をした研究であり、平成24年度から平成28年度までの期間にちば県民保健予防財団において大腸がん検診をお受けになった方で、調査研究等への同意をいただいた方の検査結果を使用し、市町村別、5歳階級別、男女別の検査結果の集計を行う。集計を行う項目については、受診者数、要精密検査者数、要精検率、精検受診者数、精検受診率、がん発見数、がん発見率、精密検査結果（大腸がんの早期、進行、不明）等の調査を行います。

大腸がん（早期、進行、不明）が発見された受診者について、5年連続逐年受診している受診者グループと継続的に受診していない受診者グループの比較を行い、逐年検診の有用性について検討します。

この調査から、効果的な大腸がんの発見にあたり当該検診の有用性を把握することで、大腸がんの早期診断早期治療へと繋げ、大腸がんの死亡率の低減を図ることが期待されます。

研究責任者

検査部 生理機能検査課 臨床検査技師 藤代 誠